

第四期 帯広市子どもの読書活動推進計画（原案）＜概要版＞

令和元年11月21日
建設文教委員会提出資料

第1章

基本的な考え

1 計画策定の趣旨	子どもにとって読書は、言葉を学び、感性を磨きながら、考える力や表現力、想像力など教養を高め、より豊かな人生を生きる上で欠くことのできない基本的な活動である。 引き続き子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的にすすめるため、これまでの取り組みの成果と課題を踏まえ、第四期計画を策定するもの。
2 計画の位置づけ	家庭、地域、学校などの関係機関や民間団体が連携・協力し、帯広市の子どもの自主的な読書活動の推進に取り組むための方向性を示す、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づく市町村計画である。
3 計画の期間	2020（令和2）年度から2024（令和6）年度までの5年間
4 計画の対象年齢	0歳からおおむね18歳
5 子どもの読書活動を取り巻く社会の状況	(1) 情報通信手段の普及・多様化 ⇒『インターネット利用時間が年々増加傾向』 (2) 読書活動の重要性と不読率 ⇒『学校段階がすすむにつれて「読書離れ」もすすむ』 (3) 大人の不読率の増加 ⇒『大人の二人のうち一人は、普段本を読まない』
6 第三期計画における成果と課題 (平成27年度～令和元年度)	(1) 主な成果 ■乳幼児向けおはなし会の参加者や子育て応援バッグの貸出が安定的に推移 ■図書館の選書サービスを利用した児童保育センターへの図書貸出の増 ■学校図書館の図書館資料は、計画的な整備により蔵書率が向上 ■語り手育成講習会により誕生した、新たなボランティア団体が活動 (2) 主な課題 ■第三期計画の取組目標(4項目)について、目標を上回っているのは1項目、目標に達していないのは3項目 ■学校段階とともにすすむ「読書離れ」(帯広市小中学校読書アンケート調査) ■学習指導要領改訂による年間授業時数の増加や日課表の変更に伴う、全校一斉での読書活動の時間確保 ■学校図書館ボランティアの担い手の確保と学校司書の配置検討
7 基本理念	「自主的な読書活動を推進することにより、 子どもの豊かな心を育成します」
8 基本方針	基本理念を実現するため、2つの基本方針により子どもの自主的な読書活動を推進する。 1 子どもの読書活動の機会の提供 2 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備

第2章

子どもの読書活動の推進のための施策

基本理念	基本方針	基本施策	個別施策
自主的な読書活動を推進することにより、 子どもの豊かな心を育成します	1 子どもの読書活動の機会の提供	1-1 家庭・地域における子どもの読書活動の機会の提供 1-2 学校等における子どもの読書活動の機会の提供	(1)家庭における取組の促進 (2)図書館における取組の推進 (3)公共施設における取組の推進 (4)民間団体の活動に対する支援 (1)学校における取組の推進 (2)保育所・幼稚園等における取組の推進 (3)家庭・地域との連携による取組の推進
	2 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備	2-1 図書館等の整備・充実 2-2 学校図書館の整備・充実 2-3 子どもの読書活動を推進するための体制の整備	(1)図書館の読書環境の整備・充実 (2)障がいのある子どもの読書環境の整備・充実 (3)公共施設の図書資料の整備・充実 (1)学校図書館の読書環境の整備・充実 (2)学校図書館の機能の充実 (1)子どもの読書活動推進会議の開催 (2)関係機関・民間団体等の連携・協力の促進 (3)教職員等の研修の充実 (4)図書館司書の研修の充実

第3章

計画の推進

1 子どもの読書活動推進計画の点検・評価

(1) 子どもの読書活動推進計画の点検・評価の実施
・計画の進捗・取組状況について、毎年度点検・評価を実施
・「帯広市子どもの読書活動推進会議」に報告し、意見などを踏まえて計画を推進

(2) 取組目標の設定
・子どもの読書活動の推進状況を客観的に把握する項目として3項目を設定

＜第四期計画の取組目標＞

	目標の概要	基準年度の状況 (令和元年度)	取組目標 (令和6年度)
①	読書が好きな子どもの割合	小学生 74.5% 中学生 71.6%	いずれも増加
②	学校の授業時間以外に、平日1日当たり10分以上読書をする子どもの割合	小学生 63.6% 中学生 51.0%	いずれも増加
③	1ヶ月に1冊も本を読まない子どもの割合	小学生 17.7% 中学生 20.9%	いずれも減少

※①・②:全国学力・学習状況調査【文部科学省】 ③:帯広市小中学校読書アンケート調査【帯広市】